



第31回上田八木・金融政策サーベイ(2019年10月)

発表日：2019年10月29日（火）14：00 上田八木短資株式会社

調査日	2019年10月24日～28日
調査先	185先
回答率	89.2%

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合（10月30日～10月31日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回9月17日)	変化幅
緩和	7 (構成比%)	15	▲8
不変	93	85	+8
引締	0	0	+0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	▲7	▲15	+8

(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回9月17日)	変化幅
低下	17	18	▲1
不変	82	79	+3
上昇	1	3	▲2
短期金利予想DI	▲16	▲15	▲1

(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回9月17日)	変化幅
低下	14	27	▲13
不変	79	66	+13
上昇	7	7	+0
2年国債金利予想DI	▲7	▲20	+13

(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回9月17日)	変化幅
低下	14	32	▲18
不変	75	59	+16
上昇	11	9	+2
10年国債金利予想DI	▲3	▲23	+20

(Q5) 現状の金融緩和（オーバーシュートコミットメントを含む）からの出口開始時期はいつ頃か。

(ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません)

	(今回)	(前回9月17日)	変化幅
1. 1年未満	1%	2%	▲1%
2. 1年以上3年未満	38%	42%	▲4%
3. 3年以上	61%	56%	+5%